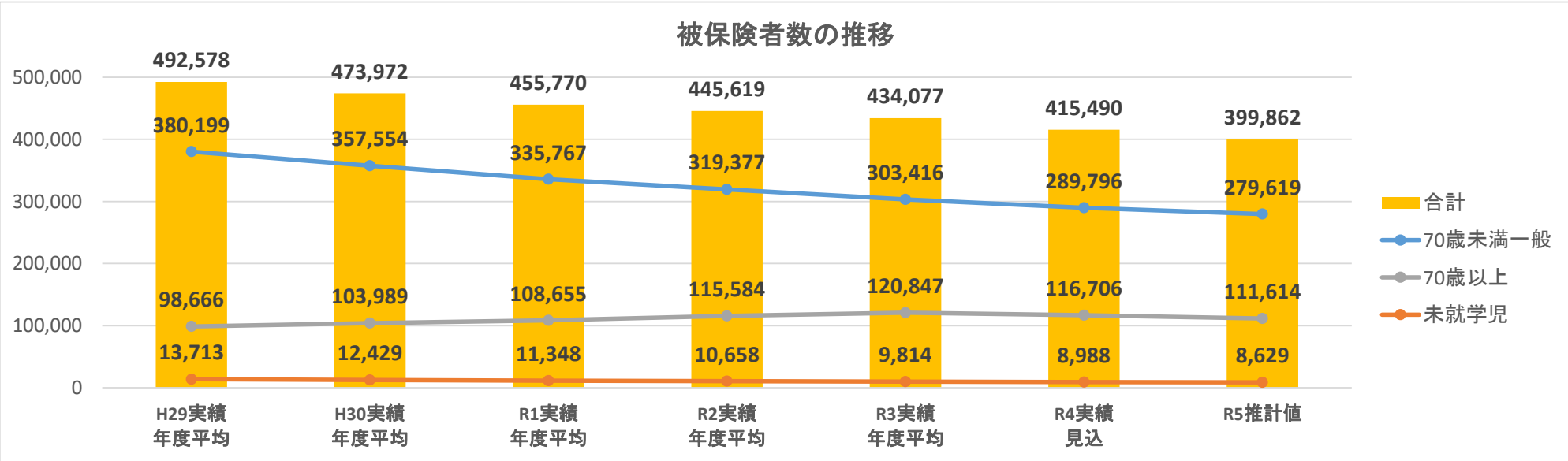


## 【別紙1】令和5年度納付金の算定結果(概要)

○納付金総額	<u>552 億円(前年+1億円)</u>	
○被保険者1人当たりの納付金額	<u>163,780 円 (前年+6,532円)</u>	
【1人当たり納付金の主な増要因】		
・保険給付費等交付金(歳出)の増	1人当たり	20,179 円
・後期高齢者支援金(歳出)の増	1人当たり	7,626 円
・介護納付金(歳出)の増	1人当たり	486 円
【1人当たり納付金の主な減要因】		
・公費(歳入)の増	1人当たり	10,955 円
・前期高齢者交付金(歳入)の増	1人当たり	10,020 円

### 【被保険者数】

被保険者数の合計は、減少傾向で推移。 70歳以上の被保険者については、令和4年に団塊の世代である1947年生まれが75歳となり、後期高齢者医療制度に移行したことから、減少に転じた。



## 【診療費推計】

1人当たり診療費は、新型コロナの感染拡大に伴う受診控えの影響などにより減少となった令和2年度を除き、増加傾向が続いており、令和5年度も増加を見込んで推計した。

### 診療費の推移

